

近世大坂の三大市場

―堂島米市場・天満青物市場・雑喉場魚市場―

日時 二〇一八年四月九日(月)から

九月二十六日(水)まで

場所 経済・経営・法律系図書室 (B3棟6階)



『摂津名所図会』より

江戸時代の大坂には堂島米市場・天満青物市場・雑喉場魚市場のいわゆる「三大市場」があり、約40万人(18世紀中頃)の住民の食生活を支えていました。とくに堂島米市場は各藩の年貢米(蔵米)が売買され、ここでの米価が江戸時代の物価全体にも影響を与えていました。経済の中心地であった大坂のなかでも賑わいをみせていた「三大市場」の様子を伝える図版を、当時のいわば“観光案内書”から紹介します。